

誰にでも、簡単に塗れる！ 剥がせる！ アイデア次第で、用途は無限！

JUPITER ラバー フィルム スプレー

Easy & Removable Rubber Film Coating

RFS

RUBBER FILM SPRAY



簡単塗装！
**はがせる
ペイント！**

RUBBER Film Spray

ラバー フィルム スプレー

Easy & Removable
Rubber Film Coating

車やバイクのホイール・
ボディー・金属・プラスチック部
身の回りの様々な製品の
カラー塗装や保護に最適！
(※使用不可例 参照)



特徴

- ラッピング フィルム タイプの塗装スプレーで、塗装後は簡単に剥がしたり、塗り直しが可能！
- 速乾タイプで、塗装後約30分で剥ぎ取りが可能！ (※完全乾燥 約4時間)
- 特別な下地処理は一切不要！
- 垂れにくく、縦吹き付け・横吹き付けが切り替え可能な、可変式特殊ノズルを採用！
- 塗装後は電気絶縁性のゴム被膜となり、空気、水を遮断可能！
- 下地の防傷・防汚効果に優れ、塩害や酸性雨などの環境にも対応可能！

**可変式
特殊ノズル**
・塗りやすい！・垂れにくい！
・縦吹き付け、横吹き付け
切り替え可能！

容量 **400ml**



カラー バリエーション



使用例



※「ラッカー クリアー」は、ボディーへの傷につけにくくするための保護膜として、また、ツヤ消し(マット塗装)仕上げ面に軽く光沢を出したり、市販の一般的な塗料でも特性上耐光性の弱い蛍光色などを施工した際に、色持ちをよくするためのものにご使用下さい。
※「マット クリアー」は、ボディーへの傷につけにくくするための保護膜として、また、光沢(グロス)仕上げ面や半ツヤ(セミグロス)仕上げ面を、ツヤ消し(マット)仕上げにするためにご使用下さい。さらに、クリアー(透明なガラス面)などに施工すると、すりガラスの様な仕上がりと、目隠しに最適です。
※クリアーをお求めの際は、施工する場所に応じてラッカー クリアー、またはマット クリアーをお選び下さい。

ジュピター ラバー フィルム スプレー シリーズ(マット カラー & クリアー)

呼番	カラー	容量	内容	品番	価格
マット カラー & クリアー					
JRFS-MTBK	マット ブラック	400ml	1本	340801	¥3,100
JRFS-MTWH	マット ホワイト	400ml	1本	340803	¥3,100
JRFS-MTRD	マット レッド	400ml	1本	340811	¥3,100
JRFS-MTOR	マット オレンジ	400ml	1本	340812	¥3,100
JRFS-MTSKBL	マット スカイ ブルー	400ml	1本	340813	¥3,100
JRFS-MTYL	マット イエロー	400ml	1本	340814	¥3,100
JRFS-MTGR	マット グリーン	400ml	1本	340815	¥3,100
JRFS-MTVT	マット ヴァイオレット	400ml	1本	340816	¥3,100
JRFS-MTPK	マット ピンク	400ml	1本	340817	¥3,100
JRFS-MTBL	マット ブルー	400ml	1本	340818	¥3,100
JRFS-MTBZ	マット ブロンズ	400ml	1本	340831	¥3,100
JRFS-MTSL	マット シルバー	400ml	1本	340833	¥3,100
JRFS-MTGD	マット ゴールド	400ml	1本	340835	¥3,100
JRFS-LQCL	ラッカー クリアー	400ml	1本	340841	¥3,100
JRFS-MTCL	マット クリアー	400ml	1本	340842	¥3,100

ジュピター ラバー フィルム スプレー シリーズ(蛍光 カラー)

呼番	カラー	容量	内容	品番	価格
蛍光 カラー ※1					
JRFS-FLOR	蛍光 オレンジ	400ml	1本	340882	¥3,100
JRFS-FLYL	蛍光 イエロー	400ml	1本	340884	¥3,100
JRFS-FLGR	蛍光 グリーン	400ml	1本	340885	¥3,100
JRFS-FLPK	蛍光 ピンク	400ml	1本	340887	¥3,100

※1 蛍光カラーについて：塗装する対象(下地)自体の色が「白」や「アイボリー」などのように明るく薄い色の場合は、蛍光カラーのみで塗装しても発色に問題は出ませんが、塗装する対象(下地)の色が「黒」や「紫」などのように濃い色の場合は、下地の色が仕上がりに影響することがありますので、JUPITER ラバー フィルム スプレーのマット ホワイトを下塗りし、その後蛍光カラー スプレーを塗装して頂くこと、蛍光カラー本来の綺麗な発色で仕上がります。
注意：施工する製品・部品の材質や劣化状態によっては、施工後本製品の塗膜を剥き取った際に、下地の変色や元の色が剥けてしまい、原状復帰ができないなどの可能性も考えられます。必ず施工前に目立たない部分で試し、確認後に施工を行って下さい。また、掲載のカラー サンプル写真は、印刷のため実物と異なって見える場合があります。予めご了承下さい。
重要：ホイールのナット(ボルト)ホール内のテーパ面(ナットやボルトを締め付ける際に、直接ホイールと接触する面)に絶対に塗料が付着しないようにして下さい。ナットやボルトが緩む原因となります。また、保安基準などの自動車関連法規に抵触しないようにご使用下さい。

※ 使用不可例
浸透性のある布やポリエステル、皮革、木の他、表面がざらついている素材(塗装は可能ですが、剥がすことが困難になり、原状復帰ができなくなる)。艶消し塗装で仕上げられた面、ヘッド ライト(ガラス製を除く)、レンズ類、ラッカー塗装で仕上げられた面、一部のプラスチック製品(PP、PE、スチロール・ポリカーボネート・CDケースなど)。

- Q1. 素人でも簡単に綺麗に塗装できますか？**
A. 可変式特殊ノズルの採用により、従来品よりはるかに垂れにくく、塗装面の形状に合わせてノズル先端を90°回すことで、縦吹き付け・横吹き付けが簡単に切り替え可能で、通常のカラー スプレーより、驚くほど簡単に綺麗に塗装できます。
- Q2. 塗装できない素材は？**
A. 基本的に浸透性のある布やポリエステル、皮革、木の他、表面がざらついている素材にも塗装は可能ですが、剥がすことが困難になり原状復帰ができなくなります。また、本製品は有機溶剤を使用していますので、プラスチック(PP、PE、ポリカーボネート、スチロール)などは溶解してしまう恐れがあります。絶対に使用しないで下さい。
- Q3. 耐久性や補修は？**
A. 使用環境や塗装対象(下地)の材質、水洗いする・しないなどで耐久性は大きく変わります。飛び石などで塗装面に傷が入った場合：再塗装する部分を綺麗にし、剥がれた部分を再度上手く塗装して下さい。本来下地処理が必要で塗料自体が同化していくので、徐々に段差がなくなっていくます。部分的に再塗装や塗り重ねることで修復が可能です。ただし、剥がれ方が激しい場合は、一度全てを剥がし取って、再度塗装し直して下さい。
- Q4. 傷があるものでも塗装できますか？**
A. 塗装対象(下地)の元の塗装や材質がしっかりしていれば、塗装可能です。また、速乾性の性質を利用して、何度も塗り重ねることによって傷を隠せるのも本製品の長の一つです。
- Q5. 乾燥時間は？**
A. 20℃前後の気温下で、塗装後約30分で剥がすことができるくらいに乾きます。完全に乾燥させるには、約4時間は塗装面に触れないで下さい。
- Q6. 剥がすのはホントに簡単ですか？**
A. 最初に爪などで軽く小さく引っ掛けて「きつかけ」を作り、そこから指で剥がして行きます。また、薄く塗った部分や形状的に剥がしにくい場合は、ガムテープなどを貼り付けて、簡単に剥がせます。なお、厚く塗るほど剥がし易くなります。

※ 詳細は、弊社ホームページの「JUPITER ラバー フィルム スプレー」のページをご覧ください。

カタログに掲載の価格には、消費税は含まれておりません。



JUPiTER ラバー フィルム スプレー使用方法

1. ご用意して頂くもの

軍手などの手袋 / マスク / ゴーグルなど(眼を保護するもの) / カッター / マスキング テープ / 新聞紙 / ビニール袋などのゴミを入れるもの



2. 塗装前の準備 (例: アルミ ホイール)



1) 塗装作業を始める前に、塗装する面のゴミやホコリ、油分、サビ、ワックスなどを綺麗に取り除いて下さい。



2) 周りに塗料が飛び散って汚れないように、ホイールの下に新聞紙などを広めて敷いて下さい。ホイール内側の塗装したくない部分を、新聞紙やマスキングシート・マスキングテープなどを使ってカバーして下さい。



3)-1 絵は、マスキングシートを使った場合のマスキング例です。ホイール表面の塗装したくないタイヤ面を、新聞紙やマスキングシート・マスキングテープなどを使ってカバーして下さい。

注意: ホイールのナット(ボルト)ホール内のテーパ面(ナットやボルトを締め付ける際に、直接ホイールと接触する面)に絶対に塗料が付着しない様にして下さい。ナットやボルトが緩む原因となります。



3)-2 マスキングシートや新聞紙でタイヤ面をカバーして下さい。



3)-3 マスキングシートや新聞紙がズレたりしないように、マスキングテープやガムテープなどで固定して下さい。



3)-4 塗りたくない部分を完全にマスキングできたら、塗装前の準備は完了です。

3. スプレー塗装

塗装を始める前に、スプレー缶を“カチャカチャ”と音を立てて良く振り、塗料を良く混ぜて下さい。

注意: 混ぜ方が不十分だと、正確な色が出ません。塗料の性質上沈殿しやすいので使用前は20秒以上よく振り、吹き付けするたびによく振ること。また、本塗装をする前に一旦新聞紙などに吹き付けて、スプレーの噴射向きや噴射量などを確認すること。また、使用する直前に、毎回必ず“カチャカチャ”音が大きくなるようにスプレー缶をよく振り、塗料をよく混ぜて下さい。

可変式特殊噴射ノズルの使用方法

噴射ノズルを90度回すと、噴射パターンが縦だ円噴射パターンから横だ円噴射パターンに変更できます。塗る面の形状や角度に合わせて、使い分けて下さい。



1) 1回目の塗装は、薄くムラなく塗装して下さい。塗料を吹き付ける時は、塗る面と噴射口の間を約15cm～30cmの間隔を取り、平行に移動しながら吹き付けて下さい。

注意: 1回目の塗装が仕上がりに一番影響しますので、絶対に1回目で厚塗りをしないで下さい。また、厚塗りは垂れの原因となります。また、塗り重ねの目安は、「気温20℃前後の場合で、約20～30分放置後」です。



2) 1回目の塗装が乾燥したら、その後数回に分けて塗り重ねて行きます。2回目からは少し厚めに(垂れないように注意しながら)塗装して構いません。塗膜のゴムが同化しますので、お好みにより数回塗り重ねて下さい。なお、厚塗りするほど、剥がしやすくなります。



3) 塗装後、直ちにマスキングを全て取り除き、約4時間完全乾燥させて作業終了です。(塗装後約30分程で、剥ぎ取り可能です。)

4) 使用後はノズルの穴詰まりを防ぐため、スプレー缶を逆さまにして約2～3秒間空吹きして噴射口をよく拭き、キャップをかぶせて安全な場所に保管して下さい。作業後は、手洗いやうがいを十分にして下さい。

注意

● 車やバイクのホイールに使用する際は、車体接触部には絶対に使用しないこと。● ラッカー塗装面や劣化した塗装面には使用しないこと。施工する製品・部品の材質や劣化状態によっては、はき取った際に変色や元の色がはげる・原状回復ができないなど、また、下地の色と本製品の色の組み合わせによっては、本製品の色移りなど、トラブルが起こる可能性があります。● 下地を侵す可能性があるため、必ず目立たない場所ですし塗りし、異常が無いことを確認してから使用すること。● ゴム・木・布製品などの浸透性のある素材にも塗装は可能ですが、はかすことができません。また、プラスチック(PP・PE・スチロール・ポリカーボネートなど)には使用不可。● 塗装後は、ブレーキクリーナーやシンナーなどの有機溶剤がかからないようにすること。塗装面がはがれる原因となります。● 塗装面の手入れは、柔らかい布と中性洗剤薄め液などで優しく手洗いをすること。ブラシや高圧洗浄機を使用すると塗膜が、はがれてしまう恐れがあります。● 塗装のはがし易さは、塗膜の厚みや形状により異なります。複雑な形や塗装の薄い部分は、粘着テープやシンナーを使用して除去すること。● 気温が10℃以下の場合、作業に適しません。必要な場合は、ぬるま湯で缶を温めてから使用すること。● 湿度が高いと塗膜が白く曇る場合があるため、湿度の低い日や場所を選んで作業を行うこと。● 基本的にははかすことが可能な塗料ですが、必ずしも原状回復を保證するものではありません。予めご了承の上、ご使用下さい。

取扱上の注意

● 子供の手の届かない場所に保管し、いたずらや誤飲・誤食しないように注意すること。● 本来の用途以外に使用しないこと。● 火気のある所では使用しないこと。● 取扱中は、必要に応じてマスクや手袋・ゴーグルなどを着用し、皮膚に触れないようにすること。● 有機溶剤が含まれているので、長時間臭いを嗅ぐと有害です。塗装中・乾燥中は、臭いが無くなるまで換気を十分にすること。● 塗料を吹き付ける時は、人にかからないよう風向きなどに注意すること。● 残った塗料を、直射日光のあたる場所や車内には保管しないこと。● 捨てる際は中のガスを十分に抜き、他のゴミと区別して処分すること。